

# INFORMATION SESSION

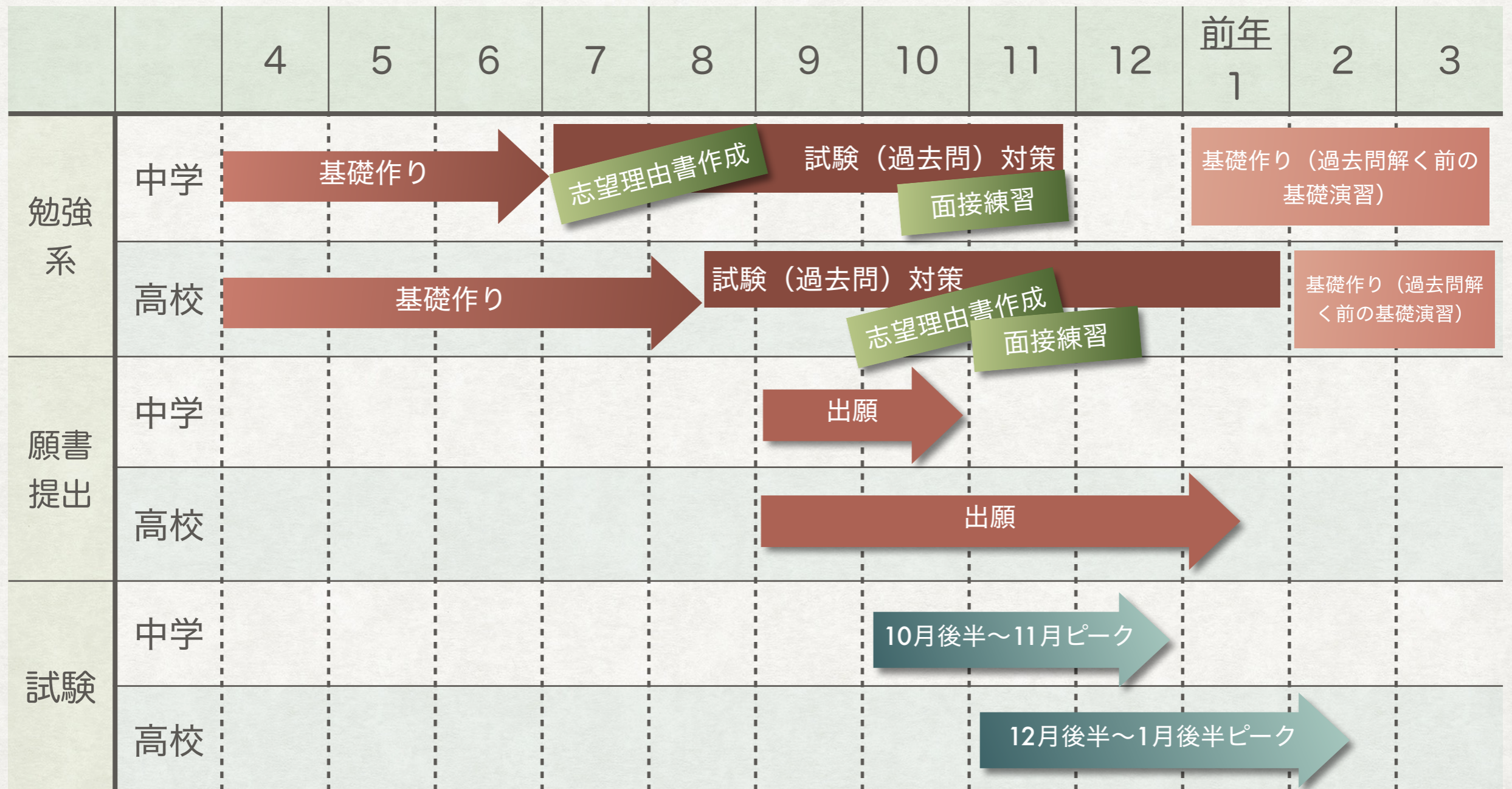
帰国枠入試・志望理由書/面接対策について

December 4th 2022

Yamada Juku School

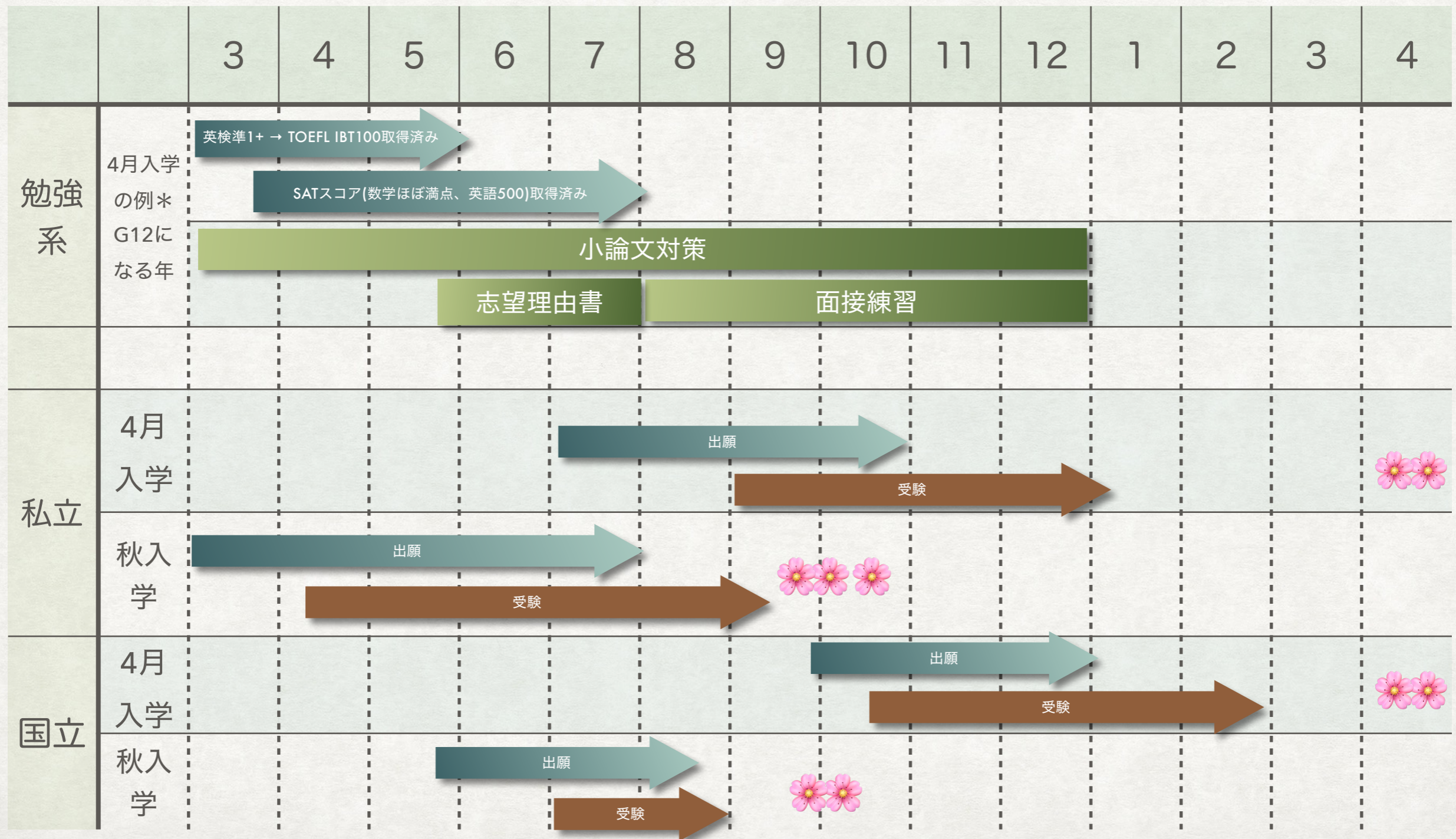
# 帰国入試までの流れ

帰国枠入試（4月入学の場合）一般的な目安



# 帰国入試までの流れ

## 帰国枠入試 一般的な目安



# 帰国枠 一般的な願書・必要書類について

## 中学・高校編

- ▶ 出願書（Webで全ての書類提出が完結するところもあれば、成績証明書など、別途送付が必要な学校もあります。）
- ▶ 学校の成績証明書
- ▶ 検定のスコア（英語受験の場合、最低英検2級は取得しておきたい。人気校・上位校の場合は準1級では足りないことも！）
- ▶ 海外滞在歴一覧
- ▶ 志望理由書

# 帰国枠 一般的な願書・必要書類について

## 大学編

- ▶ 統一試験の結果（アメリカ系SAT、イギリス系A level）
- ▶ 高校成績証明書←IBかどうかは通常関係ありません。＊1
- ▶ 高校卒業（見込み）証明書←日本でいう卒業証書が存在しないので、通っている学校に頼んで作成してもらおう形が多いです。
- ▶ TOEFL / IELTSの成績
- ▶ 志望理由書
- ▶ 学校の先生からの推薦状（必要でない学校もあります）

＊1 『IB入試枠』受験をする場合は、IBDP取得およびスコア提出が必須ですが、通常の『帰国枠』の場合は、一部の学校（国立上位校など）を除いては必要とされていないことがほとんどです。

# 志望理由書・面接について

基本的に中高大入試、全てに共通します。



大事なポイントは以下の4つ！

いきなり言語化できる生徒はごく少数で、通常、数ヶ月間にわたり、リライトを重ね、仕上げていきます。



1. 自分だけにしか語れない海外生活を具体的に。



2. 第三者にでも分かりやすい説明、つまり論理的に自分の考えを、限られた字数で（時間以内に）書ける（言える）か。

3. なぜ志望校が自分に合っていると思うのか。

4. 文章の綺麗さではなく、内容の具体性をみられている。

学校によっては、試験内容に作文を入れ、そこで海外での体験などを書かせる学校もあります。



面接では以下の4つ！

1. 志望理由書の内容を深く聞かれる。（志望校のプログラム・校風などについても）

2. インドでの生活（大変だったこと、楽しかったこと、文化など）は一通り押さえておく。

3. 2の経験を通して学んだこと、今後どのように活かしていくか。

4. 自己PR。様々な角度から、「自分はどういう人？」を聞いてくる学校も多くあります。

# 実際の例

## 1. 志望理由を書いてください。

※本校に入学後、どのような学校生活（学習、クラブ活動、委員会活動、クラス活動などを含む）を過ごしたいと考えているのか、また、本校卒業後の進路も含め、将来どのようなことをしたいと考えているのかなど、具体的に書いてください。

（かえつ有明中学より）

## 2. 簡潔に自己PRをしてください。（自由に書いてください。）

※スポーツ活動での試合の結果やコンクール・テストなどでの実績、またはボランティア活動などについて書く場合、それらの内容は箇条書きで簡潔に書いてください。

- ・ 滞在国の学校生活を説明してください。
  - ・ 滞在していた地域の良いところを説明してください。
  - ・ もし、あなたがテストで良い点数を取って、他の全員が悪い点数を取ったら、あなたはどうしますか。（広尾学園中学）
  - ・ インドと日本の違い。
  - ・ 現在通っている学校について。
  - ・ 今、関心や興味があること。
  - ・ 自分はリーダーに適しているか。
  - ・ 入学したら、どんな影響力を与えられるか。（大妻中野中学）
  - ・ 海外生活で学んだこと。今後それをどうやって活かすか。（かえつ有明中学）
  - ・ 最近読んだ本/気になったニュース（広尾学園小石川）
  - ・ 海外の教育制度で学んだことにより得られた知識・教養（上智大学教養）
  - ・ 4年間を通して何を学びたいか、学びたい分野となぜその分野を学びたいのかを具体的に説明せよ。（早稲田国教）
- ・ 茗溪IBコースについて、何を知っていますか。
  - ・ 海外生活で、何を得たと思うか。（茗溪学園高校IB）
  - ・ 親に感謝していること。（茗溪学園中学）